

### 3.8 ダイレクト・インターフェースにおける制御電文について

#### 3.8.1 制御電文とは

制御電文とは、利用者システム等から NACCS センターサーバ内のメイン処理部に対して、業務処理以外の目的で送信する電文、またはメイン処理部の内部で発生し、利用者システムに対して送信する業務処理に関係しない電文のことである。

制御電文の種類を、表 3-8-1 に示す。

表 3-8-1 制御電文の種類（処理要求電文）

項番	電文の種類	電文種別	業務コード	出力情報コード	概要	補足
1	受信完了電文		?A2		利用者が、交換ファイルに格納されていた処理結果電文を正常に受信できたときに、メイン処理部に対して送信する電文 以下の条件を満たす場合に必ず送信する ・電文種別が帳票用 [P], [A]、社内インターフェース用 [T]、または格納用 [U] の電文を利用者システムが正常に受信した	メイン処理部がこの電文を受け取ると、メイン処理部は当該処理結果電文を交換ファイル内から削除する
2	障害通知電文		?A3		利用者が、交換ファイルに格納されていた処理結果電文を正常に受信できなかったときに、メイン処理部に対して送信する電文 以下の条件を満たす場合に必ず送信する ・電文種別が帳票用 [P], [A]、社内インターフェース用 [T]、または格納用 [U] の電文を利用者システムが正常に受信できなかった	メイン処理部がこの電文を受け取ると、センターサーバ側は、該当の帳票電文を障害キューへ格納する。

#### ! ?B1、?B2 電文の廃止

旧 NACCS においては、業務開始電文 (?B1)、業務終了電文 (?B2) が存在していたが、システム負荷軽減のため、これらの電文を廃止する。本システムでは、交換ファイル蓄積電文通数の取得機能は、SYG または REQ 業務の際の REF にて代替する。

また、本システムにおいて利用者が旧 NACCS における ?B1、?B2 電文をセンター側に送信した場合、センター側では特別な処理は行わずに、応答として交換ファイル電文数の箇所を 0、端末バージョンの箇所をスペースとしたダミーの電文を送信する。

#### ! 業務コード ?A1 の処理結果通知電文について

旧 NACCS EDI 仕様書に記載されていた業務コード ?A1 の処理結果通知電文については、旧システムおよび本システムにおいても、利用者向けに送信されることが無いため、記述を削除する。

### 3.8.2 制御電文の電文例

制御電文(受信完了電文(?A2)と障害通知電文(?A3))の電文フォーマットについて、表 3-8-2と表 3-8-3に示す。

表 3-8-2 受信完了電文 (?A2) の入力共通項目  
(受信完了電文 (?A2) は入力共通項目のみの電文である。)

項番	項目名	桁	概要	設定例等
1	制御情報	3	制御情報を設定する	DC△
2	業務コード	5	業務コードを設定する	?A2△△
3	出力情報コード	7	スペースを固定設定する	(同左)
4	電文受信日時	14	スペースを固定設定する	(同左)
5	利用者コード	5	利用者コード、識別番号、利用者パスワードを設定し、利用者の識別に使用する	1AABC
6	識別番号	3		001
7	利用者パスワード	8		*****
8	論理端末名	6	入力元の論理端末名を設定する	PXXXXC
9	宛先メールアドレス	64	スペースを固定設定する	(同左)
10	Subject	64	スペースを固定設定する	(同左)
11	RTP引継情報	30	受信完了した電文のRTP引継情報を設定する	受信完了した電文のRTP引継情報を設定する
12	(予約エリア)	10	スペースを固定設定する (注)	(同左)
13	電文引継情報	26	スペースを固定設定する	(同左)
14	電文制御情報	8	スペースを固定設定する	(同左)
15	入力情報特定番号	10	処理結果電文にそのまま出力される	利用者で任意の値を設定する
16	索引引継情報	100	スペースを固定設定する	(同左)
17	(予約エリア)	1	スペースを固定設定する (注)	(同左)
18	システム識別	1	スペースを固定設定する	(同左)
19	画面コード	3	スペースを固定設定する	(同左)
20	(予約エリア)	24	スペースを固定設定する (注)	(同左)
21	電文長	6	NACCS EDI電文の長さを示す (入力共通項目を含む) センターサーバでは電文の終端をこの値にて判断する	000400~500000 (最大電文長は500,000) (注)なお、他府省システムとの間で送受信する電文の最大長は、別冊「他府省システム編」3.1.2 NACCS EDI電文の電文構造 表3-1-1を参照のこと
22	合計	398		

(注1) 予約エリアは、システムの制御用に使用する。

(注2) RTP引継情報とは、センターサーバ側が継続処理用に使用する情報である。  
利用者は、受信した出力情報電文のRTP引継情報をそのまま設定する

表3-8-3 障害通知電文 (?A3) の入力共通項目  
 (障害通知電文 (?A3) は入力共通項目のみの電文である。)

項番	項目名	桁	概要	設定例等
1	制御情報	3	制御情報を設定する	DC△
2	業務コード	5	業務コードを設定する	?A3△△
3	出力情報コード	7	スペースを固定設定する	(同左)
4	電文受信日時	14	スペースを固定設定する	(同左)
5	利用者コード	5	利用者コード、識別番号、利用者パスワードを設定し、利用者の識別に使用する	IAABC
6	識別番号	3		001
7	利用者パスワード	8		*****
8	論理端末名	6	入力元の論理端末名を設定する	PXXXXC
9	宛先メールアドレス	64	スペースを固定設定する	(同左)
10	Subject	64	スペースを固定設定する	(同左)
11	RTP引継情報	30	正常に受信できなかった電文のRTP引継情報を設定する	正常に受信できなかった電文のRTP引継情報を設定する
12	(予約エリア)	10	スペースを固定設定する (注)	(同左)
13	電文引継情報	26	スペースを固定設定する	(同左)
14	電文制御情報	8	スペースを固定設定する	(同左)
15	入力情報特定番号	10	処理結果電文にそのまま出力される	利用者で任意の値を設定する
16	索引引継情報	100	スペースを固定設定する	(同左)
17	(予約エリア)	1	スペースを固定設定する (注)	(同左)
18	システム識別	1	スペースを固定設定する	(同左)
19	画面コード	3	スペースを固定設定する	(同左)
20	(予約エリア)	24	スペースを固定設定する (注)	(同左)
21	電文長	6	NACCS EDI電文の長さを示す (入力共通項目を含む) センターサーバでは電文の終端をこの値にて判断する	000400~500000 (最大電文長は500,000) (注)なお、他府省システムとの間で送受信する電文の最大長は、別冊「他府省システム編」3.1.2 NACCS EDI電文の電文構造 表3-1-1を参照のこと
22	合計	398		

(注1) 予約エリアは、システムの制御用に使用する。

(注2) RTP引継情報とは、センターサーバ側が継続処理用に使用する情報である。  
 利用者は、受信した出力情報電文のRTP引継情報をそのまま設定する。